

「学校における業務改善」

「南九州市立颯娃小学校」の実践紹介

◆◆ 効果が期待される取組 ◆◆

意識を持たせるための業務の改善・効率化の「見える化」を進める取組

実施前の課題

- 「働き方」「業務・校務の改善」に関する取組意識
- 学校課題、健康管理等の改善に対する意識
- 評価内容を生かすことに対する責任感
- 教育課程は危機管理マニュアルであり、業務改善の礎であることへの意識
- 「変わらない」という諦め感の滞留



学校創立152年 颯娃小学校



学校評議員との意見交換

実施後の成果

- 国、県の公文や情報等への意識醸成と提示・紹介等の積極化
- スケジュール管理・調整、行事の精選・統合等の意識化
- よりよい改善策の提示、校務機能の活性化、自分のこととしての健康管理
- 教育課程・大綱への『追記』の設定による意識の啓発・醸成
- “子供たちのため、自分たちのため”という意識の醸成と改善策の発露

業務改善を目指した取組の詳細



1. “子供First”の学校であるために

- Team 颯娃幼小教職員としての矜持をもつ
 - ① 教育課程への「業務改善」の位置づけ
 - ② 子供とふれあうための時間設定
 - ③ 健康管理としての出勤退勤記録



【全職員による読み聞かせ】

2. 評価、結果を受け止め、

熟考・改善を生かす



【学校評価の分析】

- 調査・評価に責任をもって取り組む

・CAP-D (Management cycle) の考え方による取組の積上げ
(改善の見える化)

ふい戻る機会

3. 「3R's」の働き方環境を仕組む

—業務改善と効率的働き方を意図して—

- ・ Reduce : 減らす
- ・ Reuse : 繰り返し使う
- ・ Recycle : 還元する

考え方！

生かす機会

- ・ ICT 活用による効率化
- ・ モノと時間の縮減・還元

知る機会

- ・ 文科省:Task force について
- ・ 学校 Ver.3.0 について
- ・ 次世代の学校について

情報の提供



【鹿大教職大学院講師による先端情報講義】

・意識の啓発とキャリア形成への働きかけ

高める機会

4. 「自分の事」として意識した

校務、研修姿勢の醸成を図る

今後の課題、計画

- Team 颯娃幼小型 “働き方・業務効率” Standardの整理……語り、見直し、継続する。
- 「どこに行っても、どの立場でも “同じ考え方” で進める」ことを意識・定着させる。